序章　いちめんの菜の花――二〇〇五年武漢の旅……1
第一章　林芙美子の従軍記――『戦線』と『北岸部隊』……29
第二章　「ペン部隊」の人たち……71
1　前線を描く　71
2　岸田國士『従軍五十日』　76
3　中谷孝雄『滬杭日記』　80
4　尾崎士郎『文学部隊』と『ある従軍部隊』　83

5 丹羽文雄『還らぬ中隊』 87
6 兵隊と共に歩いた作家 91
(i) 石川達三『武漢作戦』
(ii) 里村欣三『徐州戦』
(iii) 火野葦平『広東進軍抄』
第三章 日本浪曼派をめぐる小景……113
1 井上友一郎『長編小説 従軍日記』と保田與重郎『蒙疆』 113
2 佐藤春夫『戦線詩集』 126
第四章 一兵隊という位置……145
1 不思議な従軍記『一兵隊の 中支那スケッチ帖 絵と文』 145
2 小原孝太郎『日中戦争従軍日記』 150
3 山本武『一兵士の従軍記録』 162
4 東史郎『東史郎日記』 183

第五章　兵隊たちの戦後——佐藤文夫の場合……193
あとがき……213